

日本化学会栃木地区講演会のお知らせ

題目：新規ホウ素反応活性種の創製と新反応開発

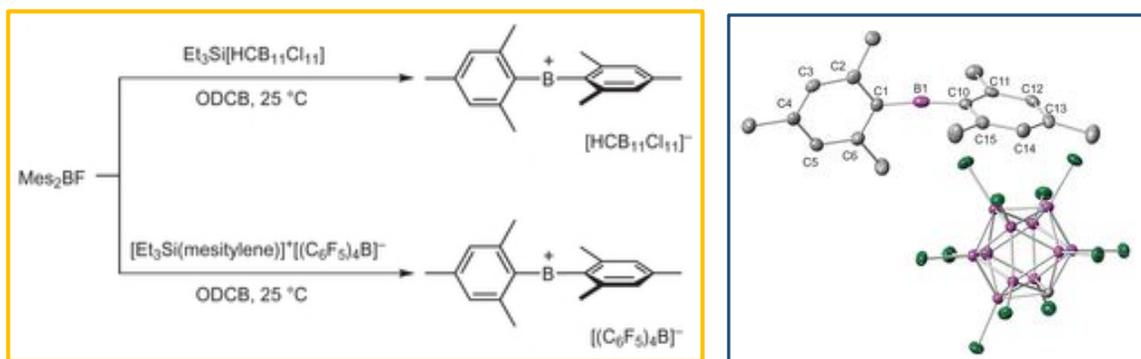
講師：東京工業大学資源化学研究所

助教 庄子良晃 先生

日時：2015年12月7日（月）16:10～（60～90分）

会場：工学部3号館3-331号室

概要：13族元素であるホウ素の化学は、ホウ素化合物の電子欠損性とホウ素の低い電気陰性度の特徴づけられる。20世紀初頭のドイツ人化学者 Stock による多様な水素化ホウ素化合物の研究は、Lipscomb による B-H-B 三中心二電子結合の解明や、Brown によるヒドロホウ素化反応の開発へと繋がった。革新的な化合物や反応は新しい学理や技術をもたらし、極めて大きな波及効果をもつ。本講演では、「シンプルな分子構造を追求し、かつホウ素化合物本来の電子欠損性を最大限に活かす」アプローチに基づく新規ホウ素反応活性種の創製と新反応開発について、最新の研究成果を交えて議論する。



“A two-coordinate boron cation featuring C–B⁺–C bonding”, Y. Shoji, N. Tanaka, K. Mikami, M. Uchiyama, T. Fukushima, *Nature Chem.* **2014**, 6, 498–503.

講師の庄子先生の研究成果は、*Nature Chemistry*（本講演の内容）や *Science* に掲載されています。今後の活躍が一層期待されている気鋭の若手研究者です。

問い合わせ先：超分子化学講座 伊藤智志(内線7013)